

地域密着型金融の取組み

当金庫は、「地域社会の発展と、ゆたかな暮らしづくりをめざして」を基本理念として、地域の皆さまから「愛され」「信頼される」地域金融機関を目指して、地域密着型金融の推進に取り組んでいます。

**盛岡
信用金庫**

基本理念

「ゆたかな暮らしづくりをめざして」

《ライフステージに応じたソリューションの提供》

創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
創業計画作成支援	事業計画作成支援		経営改善計画作成支援	
			事業承継・M&A支援	
			事業再生支援	
ファンド活用支援				
ビジネスマッチングによる課題解決支援				
外部支援機関や専門家と連携				
◇中小企業基盤整備機構◇岩手県中小企業活性化協議会◇岩手産業復興機構◇岩手県産業復興相談センター ◇岩手県事業承継・引継ぎ支援センター◇岩手県よろず支援拠点◇岩手県発明協会◇岩手県信用保証協会 ◇日本政策金融公庫◇公認会計士◇税理士◇中小企業診断士◇行政書士◇商工会・商工会議所 ◇コンサルティング会社 等				

《地方創生に向けた取組み》

◇盛岡市・久慈市・二戸市・紫波町・矢巾町との連携協定締結

《地域貢献活動》

◇もりしん地域見守り協力隊◇桜の礼所・絵画コンクール◇岩手県学生軟式野球選手権大会「もりしんカップ」
◇二戸地区信友会連絡協議会学生軟式野球大会◇もりしん愛の献血運動◇文化事業の開催
◇もりしんマネースクール(出前授業)◇中学生職場体験学習◇もりしん中学生野球教室◇懇話会(事業経営者の異業種交流)
◇ゴルフデンサークル(ゴルフ)◇年金友の会(旅行)◇地域の祭り・イベントへ参加

《環境保全への取組み》

◇「紫波企業の森づくり」森林環境保全活動◇「八幡平松尾鉱山跡地」森林再生活動
◇「再生可能エネルギー事業」を通じて地域活性化への支援

事業の成長・地域の発展

事業支援・事業再生支援

中小企業の経営支援に関する取組み方針

- 地域金融機関の使命として、中小企業の事業活動の円滑な遂行とお客さまの生活安定のために、貸付条件の変更等や円滑な資金供給に努め、金融の円滑化に取り組んでまいります。
- 人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生できるよう、各方面と連携して取り組んでまいります。
- 金融仲介機能を発揮し、お客さまのニーズや課題に応じた融資やソリューション(解決策)の提供を行うほか、外部支援機関や専門家と連携し、事業の成長や地域経済の活性化に貢献してまいります。
- 経営革新等支援機関(認定支援機関)として新規事業支援や事業再生支援のほか、事業再構築補助金、ものづくり補助金等の活用促進に努めてまいります。

中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けているお客さまから、資金需要や貸付条件の変更等のお申し出があった場合には、これまでと同様に経営課題に応じた最適な解決策をお客さまの立場に立てて提案し、実行支援を行う態勢を整備しています。
- 「もりおかSDGsファンド」を設立し、SDGsや地域課題解決に寄与する事業者に対し、資金確保や事業経営の課題に対応する態勢を整備しています。
- 「とうぎん・もりしんアグリファンド」を設立し、農業法人を出資や経営支援の面から支え、岩手県の基幹産業を支える農業の発展・活性化につながる支援を行う態勢を整備しています。
- FVC Tohoku株式会社(盛岡市産業支援センター指定管理者)へ、当金庫より職員を派遣し、起業家並びに創業時の支援・相談態勢の強化に努めています。
- 中小企業の経営改善および事業再生に向けて、本部に専門部署を設置し、独立行政法人中小企業基盤整備機構、岩手県中小企業活性化協議会、岩手県よろず支援拠点、コンサルティング会社等の外部支援機関や専門家と連携して、お客さまの抱える課題等に対応できる態勢を整備しています。
- 中小企業の金融の円滑化を図り、地域経済の発展に寄与することを目的に、株式会社日本政策金融公庫および株式会社商工組合中央金庫と「業務提携・協力に関する覚書」を締結し、当金庫と公的金融機関の機能や特性を活かしながら、お客さまの抱える課題の総合的な解決方法を提案できる態勢を整備しています。
- 東日本震災により被害を受けた中小企業のために、岩手産業復興機構、岩手県産業復興相談センター等と連携し、継続した支援を行っています。
- 事業承継、M&A仲介業務の強化策として、岩手県事業承継・引継ぎ支援センター、株式会社日本政策金融公庫、コンサルティング会社等と連携して支援を行う態勢を整備しています。

中小企業の経営支援に関する取組み状況

- 「もりおかSDGsファンド」の投資により、SDGsや地域課題解決に寄与する事業者の支援に積極的に取り組んでいます。「もりおかSDGsファンド」設立からの投資金額は12社84百万円です。
- 「とうぎん・もりしんアグリファンド」の投資により、岩手県内の農業法人の発展・活性化支援に積極的に取り組んでいます。「とうぎん・もりしんアグリファンド」設立からの投資金額は3社54百万円です。
- 令和4年度は、重点支援対象先として30先を選定し、営業店と本部が連携して経営改善に努めたほか、外部支援機関と連携して経営改善計画書の策定支援や事業再生のアドバイスを行うなど、より実効性の高い支援に取り組めました。
- 事業の悩み、課題解決の一助として、岩手県よろず支援拠点との合同相談会を開催し、令和4年度は34事業先の相談を受けました。
- 当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び事業承継時に焦点を当てた同ガイドラインの特則の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組み方針」を下記のとおり策定しています。同取組み方針に基づき、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドラインなどの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。なお、令和4年度に当金庫において、新規に無保証で融資をした件数は369件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は37.5%、保証契約を解除した件数は24件、同ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数(当金庫をメイン金融機関として実施したものに限り)は1件です。

経営者保証に関する取組み方針

- 当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」(以下、「ガイドライン」という。)の趣旨や内容を踏まえ、同ガイドラインを融資慣行として浸透・定着していくために、以下のとおり取り組みます。
- お客さまから融資等資金調達のお申込みを受けた場合、当金庫ではお客さまのガイドラインの要件の充足や経営状況等を総合的に判断する中で、経営者保証を求めない可能性や経営者保証の機能を代替する融資手法(一定の金利の上乗せ等)を活用する可能性について、お客さまの意向を踏まえたうえで検討いたします。
 - 上記の検討を行った結果、経営者保証を求めることがやむを得ないと判断し、経営者保証を提供いただく場合、当金庫はお客さまの理解と納得を得ることを目的に、保証契約の必要性等に関する丁寧かつ具体的な説明を行います。
 - お客さまから既存の保証の変更・解除等の申し入れがあった場合は、ガイドラインに即して改めて経営者保証の必要性や適切な保証金額等について真摯かつ柔軟に検討を行うとともに、その検討結果について丁寧かつ具体的な説明を行います。
 - お客さまからガイドラインに基づく保証債務整理の申し出を受けた場合には、ガイドラインに即して誠実に対応いたします。
 - 割引手形や保証付きの個人事業主への融資における経営者保証を原則不要といたします。

経営支援力の向上

- お客さまの資金繰り改善支援や事業再生支援、目利き力向上等のコンサルティング機能の発揮に向けて継続的に研修会を行っています。
- 令和4年度は、独立行政法人中小企業基盤整備機構から講師を招いて「事業承継実践インテリジェント研修」を実施し、お客さまの事業承継に対するサポート力の向上を図りました。また、株式会社ライオンから講師を招いて「補助金・助成金自動診断システム(J-システム)の勉強会」を実施し、ITツールを活用した中小企業支援スキルの向上を図りました。
- 東北大学大学院経済学研究科地域イノベーション研究センターが主宰する「地域イノベーションアドバイザー塾(RIAS)」へ当金庫職員を塾生として派遣し、企業経営と事業革新に関する知識や支援に必要な実践的なスキルを習得、「地域イノベーションアドバイザー」の資格を取得し、お客さまの革新的事業の創出に向けた支援を行っています。

○ファンドの紹介

【もりおかSDGsファンド】

「もりおかSDGsファンド」は、地域における社会課題の解決・SDGs（持続可能な開発目標）、起業家・経営革新企業の創出、コロナ禍からの復活を投資テーマとし、盛岡広域圏の自治体との連携のもと、SDGsに基づく17のゴールの達成および社会課題解決に取り組む企業へのリスクマネーの供給と経営に対するハンズオン支援を通じ、事業の成長、雇用拡大、地元経済・産業の発展に貢献するものです。

当ファンドは、当金庫、盛岡市、滝沢市、矢巾町、FVC Tohoku株式会社との共同出資により設立され、のちに紫波町が加入しました。ファンド総額は199百万円、設立から令和5年3月末までの投資実績は12社84百万円です。

【とうぎん・もりしんアグリファンド】

「とうぎん・もりしんアグリファンド」は、ファンドによる「資本に対するリスクマネーの供給」を通じ、岩手の基幹産業である農業を支援しています。

当ファンドは、当金庫、株式会社東北銀行、株式会社日本政策金融公庫、株式会社AGSコンサルティングとの共同出資により設立されました。ファンド総額は200百万円、設立から令和5年3月末までの投資実績は3社54百万円です。

農業法人投資育成事業にかかるファンドの信用金庫と地方銀行による共同設立は、全国初の取組みです。

○投資先の紹介

【もりおかSDGsファンド】

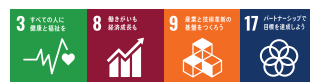
株式会社東北医工

株式会社東北医工（盛岡市）は、手指の片麻痺等脳卒中の後遺症に悩む患者のリハビリテーションを支援するロボットの開発に取り組んでいます。

国内の脳血管疾患患者数は110万人である一方、リハビリテーションや治療にあたる療法士の数は約10万人に留まっており、特に岩手県を含む東北地方では脳卒中の後遺症に苦しむ患者数が多く、これらの解決が喫緊の課題となっております。

同社はこれまで培ったロボティクス技術を活用し、岩手大学・東北大学をはじめとする各研究機関との連携を推進しながら、従前から行われている徒手的なリハビリテーションの一部を代替する、脳卒中リハビリロボットの開発を進めています。

同社が開発しているリハビリ機器は、医療現場における作業療法士らの負担軽減、ひいては患者の治療機会を創出し、人と医療の懸け橋になることから、ファンドによる支援を行いました。



【もりおかSDGsファンド】

株式会社クラシカウンスル

株式会社クラシカウンスル（盛岡市）は、地域誌「てくり」のスタッフが、岩手県に受け継がれる地場産業の振興と地域活性化を目指して令和2年に立ち上げました。手紡ぎの羊毛を使った毛織物「ホームスパン」を中心に、鉄器など地域の工芸品の販売やイベント企画を担っています。

また、古くから続くホームスパンの技術と作品の多様性を、地域の皆さまが体験する場として、令和4年11月、盛岡市中央公園BeBATERRACE内に「手紡ぎ・手織りの学校Looms」を開校しました。開校後は、岩手に受け継がれる貴重な地場産業を楽しく学ぶ場として、岩手県内外問わず多くの方に親しまれています。

同社の特徴は、ホームスパンにおける羊毛生産・商品製造・販売・担い手育成を、一気通貫で手掛けられることです。ホームスパンの聖地である盛岡を拠点に、地場産業の振興と地域活性化が期待できることから、ファンドによる支援を行いました。

